

東日本大震災対策本部の活動状況

(4月18日分(4月18日(月)午後4時現在))

1 被害を受けた施設の状況

被害を受けた施設 177施設(平成23年4月4日12時集計数)

2 主要業務

(1) 節電関連等

ア 計画停電関連

4月8日に東京電力川崎支社から、計画停電は今後原則として実施しない旨の説明があった。

イ 節電関連

(ア) 道路照明の減灯

- a 市民の要望等を受け、減灯する照明の数の調整を行っている。
- b 県道扇町川崎停車場、一般国道409号線、県道川崎府中、市道川崎駅丸子線、市道鹿島田菅線、市道尻手黒川線、県道世田谷町田、県道鶴見溝口、県道上麻生連光寺、市道幸多摩線で実施済み。

(イ) 鉄道駅エスカレーター

川崎駅東口では、運行基数及び運行時間を制限。

川崎駅西口、武蔵小杉駅、武蔵溝ノ口駅、登戸駅では、運行時間を制限。

(ロ) 公園施設(野球場、テニスコート)

ナイター施設は使用休止。

(ハ) 自転車駐輪場

- a 川崎駅東口、産業道路駅、小島新田駅、川崎駅西口、武蔵小杉駅、津田山駅、宮前平駅、鷺沼駅、向ヶ丘遊園駅、新百合ヶ丘駅の駐輪場の一部で間引消灯を実施中。

- b 残る駐輪場及び自転車保管場については、順次、間引消灯を実施予定。

(2) 燃料関連

種類	用途	状況
特A重油	川崎病院、浄水場等自家発電	当面、確保済
ガソリン	市立病院、消防署等車両用	当面、確保済
軽油	ごみ収集車、自家発電用	当面、確保済
灯油	多摩病院自家発電	当面、確保済

※燃料費の支払いについては関係課と調整のうえ、各所属で個別に対応する旨、各局(室)区庶務担当課宛てに通知。

(3) 被災地からの避難者対応関連

ア とどろきアリーナ避難所

(ア) 避難者の推移(午前8時現在) ※4/12以降は午後4時現在

日付	3/19	3/20	3/21	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28
世帯数	18	24	29	32	34	33	35	36	37	36
人数	58	77	104	112	110	106	107	111	112	105
日付	3/29	3/30	3/31	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6	4/7
世帯数	37	37	39	37	39	38	36	37	36	36
人数	105	106	112	105	108	104	99	102	97	97
日付	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17
世帯数	36	35	34	35	36	36	36	36	36	38
人数	97	102	100	102	98	98	98	98	99	103
日付	4/18									
世帯数	39									
人数	106									

※4月17日16:00→4月18日16:00 (増)1世帯3人、(減)0世帯0人

増減の理由：福島県郡山市から知人宅を尋ね入所した。

登録カード1枚につき、1世帯と計上する。

(イ) 健康相談等のため、保健師を派遣している。

※3月22日～4月30日 午前9時から午後5時(予定)

(ウ) 4月の毎週木曜日18時～20時に弁護士による法律相談を開催

イ 避難所に関する総合案内(電話番号：740-3296、740-3297)

とどろきアリーナ避難所内に設置

- ・避難所入居希望者の受付、避難所に関する報道対応等
- ・24時間体制

ウ 住宅支援

(ア) 公営住宅の入居基準について

国が福島第一原発から30km圏内の住民も入居対象者に追加。

(イ) 公営住宅の応募状況について

公営住宅の1次募集（100戸）については、3月29日以降、入居を開始。川崎市営住宅は1次募集で21世帯68名が入居予定であり、このうち20世帯が入居手続きを完了、又は入居を開始している。なお、とどろきアリーナの避難者3世帯6名は入居済みである。

また、神奈川県を受付窓口に県営住宅等の被災者受入住宅の第二次募集（575戸）を実施した。川崎市は30戸提供に対し、入居予定は27世帯である。また、入居予定者に対し、入居者説明会等の連絡を開始した。

(ロ) 市営住宅一時入居者への支援物資の受付

川崎市住宅供給公社を受付窓口に、東日本大震災で被災し、市内の市営住宅に一時入居する方への支援物資の受付を実施した。

オ 就学支援

(ア) 4月8日現在、転入学手続を行った学生は91名（小学生66名、中学生23名、高校生2名）である。

(イ) 給食及びランチサービスについて

4月11日から、小学校及び特別支援学校の学校給食並びに中学校のミルク給食を開始。4月18日から中学校ランチサービスを開始。就学援助制度を活用し、避難小中学生の学校給食費を支援。中学校ランチサービスについても、就学援助制度を準用して費用を支援する。

カ 就労支援

4月7日午後から求人情報コーナーを設置し、キャリアサポートかわさき及び川崎北ハローワークの避難者向け求人情報を掲出した。

キ 避難者相談窓口の受付状況について（平成23年4月11日から受付け開始）

各区における避難者登録数（括弧内は世帯数）

受付日	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	合計
4月11日	0	0	0	3(1)	0	0	0	3(1)
4月12日	0	8(3)	2(1)	1(1)	0	4(1)	0	15(6)
4月13日	2(1)	0	2(1)	0	1(1)	0	2(1)	7(4)
4月14日	0	0	7(2)	0	1(1)	2(1)	0	10(4)
4月15日	2(1)	0	0	2(2)	1(1)	4(3)	3(2)	12(9)
4月18日	6(3)	0	0	3(2)	0	7(1)	1(1)	17(7)
合計	10(5)	8(3)	11(4)	9(6)	3(3)	17(6)	6(4)	64(31)

（避難理由、避難元市町村名、相談件数及び相談内容については別紙1「区役所避難者相談窓口の受付状況詳細」参照）

※総務省より避難者の所在地等の情報を把握し、全国避難者情報システムを構築するため、収集した情報を提供するよう依頼があり、4月13日受付分から報告様式の一部を変更した。

ク 避難による損害への「仮払補償金」の支払いについて

15日(金)、東京電力川崎支社長が小田副市長、三浦副市長などに、仮払補償金の概要及び今後のスケジュール等について説明を行った。

※福島原子力補償相談室(コールセンター)を平成23年4月28日(木)開設予定。

(原子力損害の補償全般に関する相談を受ける専用窓口)

(4) 救援・応援関連

ア 救援物資搬送の状況

(ア) 搬送実績

	搬送場所	出発日時	救援物資内容
1	岩手県花巻市(相互応援協定)	3月15日	アルファ米2,000食 毛布200枚
2	宮城県仙台市(20大都市相互協定)	3月15日	アルファ米5,000食 毛布1,600枚
3	宮城県(神奈川県より要請) ※県が物資を海上自衛隊横須賀基地 に集積し、輸送艦にて海上輸送	3月15日	アルファ米31,500食
4	茨城県(国:緊急災害対策本部より要請)	3月16日	毛布3,000枚
5	福島市(市より要請)	3月17日	アルファ米10,000食 水のペットボトル740本 消毒アルコール500本 マスク10,000枚 ラジオ100台
6	福島県(環境省より要請)	3月19日	災害用ボックストイレ300基 汚物処理袋15,000袋
7	宮城県(国:緊急災害対策本部より要請)	3月23日	災害用トイレ5基
8	福島県(環境省より要請)	3月23日	災害用トイレ100基
9	日立市かみね動物園、仙台市八木山動物公園、盛岡市動物公園(社団法人日本動物園水族館協会より要請)	3月23日	動物用食料等
10	宮城県(環境省より要請)	3月24日	災害用トイレ100基
11	宮城県仙台市(20大都市相互協定)	3月26日	アルファ米3,000食
12	岩手県陸前高田市((社)全国都市清掃会議より要請)	4月13日	災害用トイレ100基

(イ) 救援物資別実績

救援物資	数量	救援物資	数量
a アルファ米	51,500 食	f 水のペットボトル	740 本
b 毛布	4,800 枚	g 消毒用アルコール	500 本
c 災害用トイレ	305 基	h マスク	10,000 枚
d 災害用ボックストイレ	300 基	i ラジオ	100 台
e 汚物処理袋	15,000 袋		

(ウ) 市民等からの支援物資について（福祉センターにて受付）

市民等から受け付けた支援物資については、次のとおり発送。

日 時	宛 先	品 目
4月15日 (発送済)	神奈川県	大人用オムツ167箱 バスタオル63箱
4月15日 (発送済)	二本松市	下着類59箱 靴下39箱 バスタオル・フェイスタオル90箱
4月22日 (予定)	神奈川県	こども用オムツ61箱 生理用品58箱 バスタオル・フェイスタオル110箱 ボックスティッシュ33箱 紙コップ23箱 ゴミ袋20箱 使い捨てマスク82箱 ※上記の他にハンドタオル、歯ブラシ、バック等が数箱有り。

(エ) 「リサイクル自転車」の提供について

宮城県石巻工業高等学校に自転車100台を提供する予定。

輸送日時 平成23年4月21日(木)午後5時、塩浜陸橋下第2自転車停留所出発。

イ 応援部隊の状況

(7) 派遣予定

- a 仙台市より、アスベストモニタリング調査の依頼があり、公害研究所にて調査予定。

(イ) 派遣中

- a 医師、保健師、こころのケア担当(第9次隊)
4月18日～4月22日 福島県会津若松市 医師、保健師等6名
- b 緊急消防援助隊
4月14日～4月19日 福島県消防学校 救急部隊第9次隊 3隊7名
4月18日～4月21日 福島空港 航空部隊5次隊 1隊5名
4月18日～4月22日 福島県消防学校 救急部隊第10次隊 3隊7名

※緊急消防援助隊神奈川県隊救急部隊は4月22日をもって一旦全隊引揚げ。
以降、東京都、栃木県、埼玉県の3都県隊と、神奈川県、群馬県、千葉県の
3県隊の12日間ローテーションとする予定。

c 下水道管きょ施設調査

4月16日～4月22日

石巻市 緊急車両1台、トラック(2トン)1台 8名

d 被災地で活動する有権者の統一地方選挙不在者投票支援

4月18日～4月22日 総務省自治行政局選挙課選挙係 職員1名

(ウ) 派遣実績

4月17日現在 延 1,453人日

a 給水車(4月13日現在:延 103人日 10台)

3月12日～3月15日 千葉県市川市 給水車(2トン)1台 4名

3月15日～3月18日 千葉県市川市 給水車(2トン)1台 3名

3月18日～3月21日 千葉県市川市 給水車(2トン)1台 3名

3月21日～3月22日 千葉県市川市 給水車(2トン)1台 3名

3月12日～3月15日 茨城県河内市 給水車(4トン)1台 4名

3月15日～3月18日 茨城県河内市 給水車(4トン)1台 3名

3月17日～3月18日 茨城県河内市 給水車(4トン)1台 3名

3月14日～3月15日 福島県郡山市 給水車(4トン)1台 4名

3月18日～3月20日 茨城県日立市 給水車(4トン)1台 3名

3月20日～3月21日 茨城県日立市 給水車(4トン)1台 3名

b 水道管路応急復旧(4月13日現在:延 21人日 2台)

3月16日～3月22日 千葉県浦安市 作業車 2台 3名

c 下水道管きょ施設調査(4月17日現在:延 314人日 14台)

3月17日～3月23日(第1次隊)

岩手県盛岡市 緊急車両1台、トラック(2トン)1台 6名

3月22日～3月25日(第2次隊)

岩手県盛岡市 緊急車両1台、トラック(2トン)1台 6名

3月25日～3月28日

宮城県栗原市 緊急車両1台、トラック(2トン)1台 6名

3月27日～4月2日

宮城県栗原市 緊急車両1台、トラック(2トン)1台 8名

4月1日～4月7日

宮城県栗原市 緊急車両1台、トラック(2トン)1台 8名

4月6日～4月12日

宮城県石巻市 緊急車両1台、トラック(2トン)1台 8名

4月11日～4月17日

宮城県石巻市 緊急車両1台、トラック(2トン)1台 8名

d 緊急消防援助隊派遣(4月17日現在:延 756人日 51隊)

3月11日～3月13日	千葉県市川市	1隊	6名
3月12日～3月15日	宮城県仙台市	7隊	32名
3月14日～3月18日	宮城県仙台市	7隊	32名
3月17日～3月20日	宮城県仙台市	8隊	35名
3月24日～3月26日	福島第一原発	12隊	36名
3月31日～4月4日	福島県内	3隊	8名
4月2日～4月5日	福島空港	1隊	5名
4月3日～4月7日	福島県消防学校	3隊	7名
4月6日～4月10日	福島空港	1隊	5名
4月6日～4月11日	福島県消防学校	3隊	7名
4月10日～4月13日	福島空港	1隊	5名
4月10日～4月15日	福島県消防学校	3隊	7名
4月14日～4月17日	福島空港	1隊	5名

e 被災宅地危険度判定調査（4月12日現在：延 57人日）

3月22日～3月26日	宮城県仙台市	被災宅地危険度判定士	3名
3月25日～3月29日	宮城県仙台市	被災宅地危険度判定士	3名
3月28日～4月1日	宮城県仙台市	被災宅地危険度判定士	3名
4月1日～4月4日	宮城県仙台市	被災宅地危険度判定士	3名

※第4陣の被災宅地危険度判定士3名が5日に帰庁し、これをもって派遣終了

f 医師、保健師、こころのケア担当（4月18日現在：延 163人日）

3月17日～3月21日（第1次隊）	宮城県仙台市	医師1名、保健師2名
3月21日～3月25日（第2次隊）	宮城県仙台市	医師1名、保健師2名
3月25日～3月29日（第3次隊）	宮城県仙台市	医師1名、保健師2名
3月30日～4月2日（第4次隊）	福島県二本松市	医師1名、保健師2名、こころのケア担当2名
4月2日～4月6日（第5次隊）	福島県二本松市	医師1名、保健師2名、こころのケア担当2名
4月6日～4月10日（第6次隊）	福島県二本松市	医師1名、保健師2名、こころのケア担当2名
4月10日～4月14日（第7次隊）	福島県二本松市	医師、保健師等5名
4月14日～4月18日（第8次隊）	福島県二本松市	医師、保健師等6名

g 放射線技師

4月 9日～4月14日 福島県 診療放射線技師1名

h (社)全国都市清掃会議からの要請により災害用トイレ100基の搬送・組立(4月17日現在:延 36人日 5台)

4月13日～4月15日 岩手県陸前高田市 職員12名、トラック5台

i 被災地で活動する有権者の統一地方選挙不在者投票支援(4月17日現在:延 3人日)

4月13日～4月15日 総務省自治行政局選挙課選挙係 職員1名

(エ) 全国市長会からの職員の派遣要請(4月7日派遣可能人数を回答)

a 短期派遣(罹災証明書発行事務2名、各市町避難所の管理、運営2名)

派遣可能人数 一般事務職 4名(1週間交替で2ヶ月:名簿85名作成中)

b 中長期派遣(市内道路パトロール・設計書発注等2名)

派遣可能人数 土木職 2名(6ヶ月で交替:建設緑政局から4名予定)

現在、被災県において、派遣職員の割り振りについて各被災市と調整中

4月15日時点 要請なし

(オ) 指定都市市長会からの職員の派遣要請(4月14日要請)

a 要請内容

仙台市から全国市長会に要望したケースワーカー(面談相談)4名派遣について応募が無いことから、指定都市市長会事務局を通じて各政令市へ派遣要請。

b 派遣可能人数回答(4月15日回答)

派遣可能人数 ケースワーカー(面接相談) 2名1組(1週間)

派遣期間 5月9日から31日までの間の1週間

又は4月25日から5月2日までの1週間

※ケースワーカー2名については、全国市長会派遣予定名簿からケースワーカー経験者を選考(川崎区1名、田島支所1名を予定)

ウ 有料道路の通行料金の免除について

岩手・宮城・福島の各県知事から神奈川県知事を通じて、今回の地震に伴う災害援助のために使用する車両の取扱いについて依頼があった。

これにより、地方自治体が発行する証明書を携帯することにより、有料道路の通行料金が免除される。

対象車両は行政・協定締結先・現地から要請の受けたボランティアの車両となる。

(5) 放射能関連

ア 市内の環境放射線量

測定期間	4月17日17時～4月18日16時
測定地点	川崎市公害研究所(川崎区田島町)
測定値[マイクログレイ/h]	0.052～0.053(前日0.052～0.055)

※ 自然界放射線レベル 0.03～0.1マイクログレイ/h(文部科学省)

イ 食料品の放射線量

(ア) 神奈川県によると、4月15日現在、これまで県内で生産された農畜水産物44検体(牛乳11検体、野菜類23検体、肉3検体・魚介類7検体)の測定値は、いずれも食品衛生法上の暫定規制値を下回るもので、食べても健康に影響を与えるものではないとのこと。

(参考 <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6576/p163715.html>)

(イ) 経済労働局農業振興センター農業技術支援センターで試験栽培中のハウレン草を放射線測定のため検体として神奈川県に提供した。

- ・ 4月5日：検体提供
- ・ 4月6日：分析結果発表

農産物の種類(産地)	放射性セシウム[Bq/kg]	放射性ヨウ素[Bq/kg]
ハウレンソウ(川崎市)	150	21.9

(参考 <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6576/p163715.html>)

→食品衛生法上の暫定規制値を下回るものであり、食べても健康に影響を与えるものではない。

【参考】食品衛生法上の暫定規制値

放射性ヨウ素(野菜類) 2,000Bq/kg

放射性セシウム(野菜類) 500Bq/kg

(ウ) 高津区久末の農家で栽培したハウレンソウを検体として19日に県へ提供する。20日夕方に結果が判明する予定。

ウ 水道水

(ア) 放射線測定結果

採水日 平成23年4月18日(月)

採水場所	放射性セシウム	放射性ヨウ素
長沢浄水場(相模川水系)	不検出(不検出)	不検出(不検出)
潮見台浄水場(相模川水系及び酒匂川水系)	不検出(不検出)	不検出(不検出)
生田浄水場(地下水)	不検出(不検出)	不検出(不検出)
西長沢浄水場(県内広域水道企業団)	不検出(不検出)	不検出(不検出)
原子力災害時の飲食物摂取制限に関する国の指標値(飲料水)	200	300
乳児の飲用に関する暫定指標値	—	100

単位：[Bq/kg]

※()内は、前日の検出結果

※放射性セシウムの検出下限値は、Cs137:9.6[Bq/kg]、Cs134:9.1[Bq/kg]、

放射性ヨウ素の検出下限値は、8.7[Bq/kg]。

※放射性セシウムの測定値は、Cs137とCs134の合量値である。

※問い合わせ先：水道修繕センター 0120-014-734 (24時間年中無休)

- (イ) 乳児のいる家庭への飲料水の提供準備
清浄な飲料水を常時300m³準備している。

エ 川崎港水域における放射線測定

4月18日、川崎航路及び東扇島防波堤西端北側で採取した海水を川崎市衛生研究所で測定した結果、放射性ヨウ素131、放射性セシウム134、同137ともに「不検出」であった。

(6) その他

ア 被災地寄港船舶への入港料及び係留施設使用料の免除

川崎港と被災地の港湾との間を航行する船舶に対し、川崎港の入港料及び一部の港湾施設使用料を免除。4月1日から9月30日まで実施。

イ 競輪、競馬の開催

- (ア) 経済産業省から出されていた競輪開催の自粛要請が4月7日付けで解除されたことから、川崎競輪場では、電力消費を最大限に削減する対応をしたうえで、場外発売を4月23日の西武園開催から、本場開催を5月13日から再開する。なお、売上金の一部を東日本大震災の被災地に支援金として拠出する。
- (イ) 川崎競馬場については、4月12日(火)から平成23年度第1回川崎競馬を「復興支援競馬」として、節電等の対策を講じたうえで開催した。

東日本大震災対策本部事務局
200-2858 (内線22503)
200-2841 (内線22531)

別紙1 区役所避難者相談窓口の受付等詳細

1 避難日別の避難理由ごとの人数

避難日	家屋倒壊 (地震)	家屋倒壊 (津波)	原発	その他	合計
3月12日	0	0	4	0	4
3月15日	1	0	0	0	1
3月16日	0	0	2	0	2
3月17日	0	0	9	0	9
3月19日	0	0	1	0	1
3月20日	1	0	1	0	2
3月21日	2	0	0	0	2
3月23日	1	0	0	0	1
3月26日	0	2	0	0	2
3月27日	0	0	7	0	7
3月28日	0	2	2	0	4
3月30日	0	0	8	0	8
4月2日	2	0	2	0	4
4月3日	0	3	0	0	3
4月4日	0	0	2	0	2
4月5日	0	0	1	0	1
4月9日	0	0	4	0	4
4月11日	0	1	0	0	1
4月16日	0	0	2	0	2
総計	7	10	47	0	64

2 県・市町村ごとの避難者数

岩手県	陸前高田市	2
	上閉伊郡大槌町	3
宮城県	牡鹿郡女川町	2
	亶理郡山元町	3
	石巻市	3
	仙台市	3
福島県	いわき市	6
	南相馬市	11
	郡山市	5
	田村市	1
	白河町	1
	双葉郡双葉町	4
	双葉郡富岡町	3
	双葉郡浪江町	17
総計		64

3 各区における相談件数

受付日時	川崎区	幸 区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	総計
4月11日	0	0	0	1	0	0	0	1
4月12日	0	2	1	1	0	1	0	5
4月13日	1	0	1	0	2	0	1	5
4月14日	0	0	1	0	4	0	0	5
4月15日	1	1	0	2	4	3	1	12
4月16日	2	0	0	3	0	3	1	9
総計	4	3	3	9	10	7	3	37

4 相談内容と件数（4月18日）

子育て・教育	就労	住居・生活	福祉・介護	資金・融資	その他	総計
2(2)	0(0)	13(10)	5(2)	4(3)	13(7)	37

※その他は滞在証明の発行依頼、罹災証明の発行依頼、相談窓口の設置状況について

※（ ）内は、4月15日の件数